

第312回薬事委員会報告

日 時 令和7年 10月 1日 (水) 15:00～15:30

場 所 病院会議室A

出席者 堀、高松、今福、戸川、小松、長谷川、諸藤、神村、池内

欠席者 川浪、三宅、津川

議 事

I. 新規採用医薬品

	適否	製品名	削除医薬品
1	適	ライブリバント点滴静注 350mg	ゲフィチニブ錠250mg「DSEP」
2	適	ラズクルーズ錠 240mg	タルセバ錠 150mg
3	適	ゾコーバ錠 125mg	アベロックス錠 400mg
4	適	ベクルリー点滴静注用 100mg	S G配合顆粒

削除医薬品が先発品の場合は、削除決定後自動的に院外専用医薬品となる（一般名処方薬がある場合は除く）

II. 後発医薬品（GE）への切替

	適否	AG/BS	製品名	削除医薬品
1	適	-	イオパミドール 300 注 20mL「F」	イオパミロン 300 20mL
2	適	-	イオパミドール 300 注 50mL「F」	イオパミロン 300 50mL
3	適	-	イオパミドール 300 注 100mL「F」	イオパミロン 300 100mL

III. 試薬・製剤原料等
該当なしIV. 新規院内特殊製剤
該当なし

V. 臨時購入医薬品（院内専用 患者限定）

新規購入品目（令和7年7月5日～令和7年9月5日）

	製品名	申請科	申請理由
1	ネオフィリン注 PL250mg	救命センター	喘息
2	ルマケラス錠 120mg	呼吸器・乳腺・小児外科	肺癌術後再発
3	ハイイータン錠 50mg	呼吸器内科	肺扁平上皮癌
4	ラズクルーズ錠 240mg	呼吸器内科	EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌
5	エストラーナテープ 0.72mg	産婦人科	卵巣欠落症状
6	タバリス錠 100mg	腫瘍・血液・感染症内科	慢性突発性血小板減少性紫斑病
7	ドウベイト配合錠	腫瘍・血液・感染症内科	HIV 感染症
8	エアウィン皮下注用 45mg,60mg	循環器内科	突発性肺動脈性肺高血圧症
9	オキサロール軟膏 25μg/g	消化器外科	尋常性乾癬
10	オキサロールローション 25μg/g	消化器外科	尋常性乾癬
11	メクトビ錠 15mg	消化器外科	S 状結腸癌 肝転移
12	アリッサ配合錠	消化器内科	月経困難
13	ケイキサレートドライシロップ 76%	小児科	慢性腎不全
14	ミッドペリック L250 腹膜透析液 2.5L（排液用バッグ付）	腎臓・膠原病内科	慢性腎臓病
15	オブフォルダカプセル 65mg	小児科	ポンペ病
16	ポムビリティ点滴静注用 105mg	小児科	ポンペ病
17	レギュニーLCa4.25 腹膜透析 液排液用バッグ付 2,000mL	腎臓・膠原病内科	CKD ステージ G5D
18	ツムラ柴胡桂枝乾姜湯エキス顆粒（医療用）	腎泌尿器外科	更年期障害、血の道症、神経症、不眠症
19	ツムラ酸棗仁湯エキス顆粒（医療用）	精神神経科	不眠症
20	アンプリセンタン錠 2.5mg「サワイ」	総合診療科	肺動脈性肺高血圧症
21	ウプトラビ錠 0.4mg	総合診療科	肺動脈性肺高血圧症

22	ダフクリア錠 200mg	総合診療科	偽膜性腸炎
23	ヴォトリエント錠 200mg	皮膚科	血管肉腫
24	オテズラ錠 10mg,20mg (スターターパック)	皮膚科	尋常性乾癬
25	ベセルナクリーム 5%	皮膚科	尖圭コンジローマ

VI.

院外専用医薬品（令和7年9月5日時点）

カルケンス錠 100mg	クラシエ薬草甘草湯エキス細粒	ダラシンTローション 1%
フォゼベル錠 20mg	フォゼベル錠 30mg	メラトベル錠小児用 1mg
メラトベル錠小児用 2mg	ラズグルーズ錠 80mg	リバルエン LA パッチ 25.92mg
リバルエン LA パッチ 51.84mg	レギュニーLCa4.25 腹膜透析 液排液用バッグ付 2,000mL	

VII. 販売名変更
該当なし

VIII. 販売中止
〈販売中止に伴う切替採用申請〉

	販売中止となる採用薬	在庫消尽予定時期	切替採用薬
1	ソロブテロール塩酸塩 DS 小児用 0.1%「タカタ」	2026 年 1 月	ホクナリンドライシロップ 0.1%小児用
2	ドンペリドン錠 10mg 「日医工」	2025 年 9 月	ドンペリドン錠 10mg 「NIG」
3	アリナミンF50 注	－	－
4	ビタシミン注射液 500mg	－	－
5	リドカイン点滴静注液 1%「タカタ」	－	－
6	リゾビスト注	－	－
7	ユーロコリンズ液「KCC」 465mL	－	－
8	ファスジル塩酸塩点滴静注液 30mg 「KCC」	－	エリル点滴静注液 30mg

●3～8 ネオクリティケア製薬株式会社の破産による販売中止にて、代替薬が無い、または確保が困難な製品。

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ
〈供給遅延・供給停止等とそれに伴う切替採用申請〉

	供給遅延・供給停止となる採用薬	切替採用薬
1	セファランチン注 10mg ※1	－
2	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」	おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」

※1 セファランチン注の代替薬は、各種適応のある薬剤となる。

X. 副作用報告
2025 年 7 月～8 月の副作用報告件数は 22 件であり、そのうち非重篤なものは 19 件、重篤なものは 3 件であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
2025/04/17	75	男性	キイトルーダ点滴静注 100mg/4mL/瓶	甲状腺機能低下症	軽快	薬剤師	無
2025/06/23	68	男性	アミカシン硫酸塩注射液 100mg/1mL/A	聴力障害	不変	薬剤師	有
2025/06/27	77	男性	フェトロージャ点滴静注用 1g バクトラミン注 5mL/A	AST、ALT 値上昇	軽快	薬剤師	無

XI. 同種同効薬：採用医薬品の適正化
該当なし

XII. その他
1. 使用量低頻度医薬品の院内削除
該当なし

2. 適応外・禁忌医薬品使用に係る申請（2025 年 7 月～8 月）＞

	申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の必要性
適応外	呼吸器内科	メロペネム点滴静注用	肺膿瘍に 6g/日	なし(薬事委員会)
適応外	消化器内科	コルヒチン錠	潰瘍性大腸炎	なし(薬事委員会)
適応外	脳神経外科	リドカイン静注用	硬膜動静脈瘻	あり(医療倫理委員会)

適応外	消化器内科	オンボー	潰瘍性大腸炎	なし(薬事委員会)
適応外	腎泌尿器外科	エゼチミブ錠	乳び漏	なし(薬事委員会)
適応外	腎泌尿器外科	オクトレオチド皮下注	乳び漏	なし(薬事委員会)
適応外	心臓血管外科	ナロキソン塩酸塩静注	胸腹部大動脈瘤、脊髄虚血疑い	なし(薬事委員会)
適応外	産婦人科	アスピリン腸溶錠	HDP 既往	なし(薬事委員会)

3. 薬事ニュース No. 114 (資料1) 後発医薬品使用体制加算について

2022 年 4 月以降の後発医薬品の割合は 90%以上、カットオフ値 50%以上である。

後発医薬品使用体制加算 1 (47 点→87 点：入院期間中 1 回に限り、入院初日に算定) の取得継続が可能となった。

今後も、現状を維持すべく後発医薬品の使用を推進していく。

	6 月	7 月	8 月
全医薬品の規格単位数量 ①	579, 768	600, 120	614, 975
後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量 ②	259, 293	268, 557	271, 093
後発医薬品の規格単位数量 ③	244, 585	253, 752	256, 584
カットオフ値の割合 ②/①	53. 3%※1	54. 5%※1	54. 5%※1
後発医薬品の割合 ③/②	94. 3%	94. 4%	94. 5%

※1 令和 7 年度薬価改定を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いでの数値

4. バイオ後続品使用体制加算について

令和 6 年度診療報酬で新設され、(1)直近 1 年間の使用回数が 100 回以上かつ、(2)≥80%、(3)≥50%でバイオ後続品使用体制加算 (バイオ医薬品を使用する患者について入院初日に 100 点) の取得が可能となった。(1)については、年間使用回数が 100 回以上であることを確認した。

	置き換え割合 80%以上	置き換え割合 50%以上
バイオ医薬品の内、バイオ後続品の規格単位数量の合計 ①	1, 510	6, 177
バイオ医薬品の規格単位数量の合計 ②	1, 557	8, 438
① / ②	(2) 97. 0%	(3) 73. 2%
	(イ) エポエチン (ロ) リツキシマブ (ハ) トラスツズマブ (ニ) テリパラチド	(イ) ソマトロピン (ハ) エタネルセプト (ホ) ベバシズマブ (ト) インスリンアスパルト (リ) ラニビズマブ (ロ) インフリキシマブ (二) アガルシダーゼベータ (ヘ) インスリンリスプロ (チ) アダリムマブ

5. 院内廃棄薬について

2025 年 7 月と 8 月における院内廃棄薬の総金額は、190, 998 円であった。上位品目は、レキップ CR 錠 8mg (50, 318 円)、アクトシン注射用 300mg (44, 440 円)、ゼプリオン水懸筋注 75 mgシリンジ (36, 826 円) であった。廃棄理由はすべて期限切れであった。

6. その他

2025 年 9 月 25 日現在の総採用品目数は 2, 534 品目であり、うち後発医薬品は 548 品目 (21. 6%) である。

次回薬事委員会は、令和 7 年 12 月 4 日 (木) 15 時より病院会議室 A で行う。